

商品説明

2016/5/28

発売日：2016年5月24日
<以下、メーカー発表文の内容をそのまま掲載しています>
売価：¥1,800 税別

スシゴー！（Sushi Go!） スシ食いねェ！

P.ウォーカー・ハーディング／アドベンチャーランドゲームズ（2013年）
2～5人用／8歳以上／15分



回転寿司で美味しいお寿司を食べるオーストラリアのカードゲーム。

『ダンジョンレイダース』『考古学カードゲーム』のアドベンチャーランドゲームズから発売され、今年ゲームライト社（アメリカ）からも発売されることになっている。

配られた手札から好きな1枚を選び、残りを全て左どなりの人に渡す。同時に右どなりの人から渡されたカードから1枚を選び、また残りを左どなりの人へ・・・これを繰り返してカードを集める、いわゆるカードドラフトというシステムである。1つのカードセットが、1枚1枚取られながら何周かすることになる。これが回転寿司のようで楽しい。誰も取らないまま、また回ってくるようなお寿司はたいてい美味しくないところまで再現されている。



回ってくるのは握り寿司、巻き寿司、天ぷら、刺し身、餃子、そしてプリン。握り寿司は単独で点数になるが、イカが一番得点が高い。さらにワサビを加えると得点が2倍になる。巻き寿司はたくさん集めた人だけ得点。天ぷらは2枚、刺し身は3枚集めて初めて得点になる。餃子はたくさん集めるほど得点が増える。プリンはラウンド累積で、一番多く集めた人にボーナス、一番少なかった人にペナルティ。このように、ものによって得点パターンがいろいろあるのがバラエティに富んでいる。

面白いのは、全員の手札が1周回ってくるまで、今回出回っているカードの傾向がつかめないこと。例えば、刺し身は3枚集めないと得点にならないが、場に3枚ある

のかどうか、はじめは分からない。その中で、初手から刺し身を取っていくのは勇気のいることである。しかし、全体を見てからでは手遅れになるので、一か八かで取らなければいけない場面がある。ほかの人が選んだカードも判断材料となる。

その悩ましさを解決してくれるのが箸カード。これがあると1回取るのを休んで次に1つのカードセットから2枚一気に取れる。これをつかってセットを一気に作れると美味しい。ただし早めに使っておかないと、残り物ばかりになってしまう。

長女と長男と3人でプレイ。長女はプリンを貯めこむという長期的な作戦（単に食べたいだけかも）、長男はワサビと握り寿司のコンボで得点を増やす作戦である。私は2人とも見向きもしなかった巻き寿司を集めてボーナスゲットし、プリンのペナルティを長男と分けあって無事逃げ切った。

美味しそうな寿司を手当たり次第に取っていくというのでもいいが、ほかの人が選んだカードと、回ってくるカードを見比べて方針を考え始めると、もっと深く楽しめる。「お寿司のカワイイ顔が和む」というのは、長女の評。

4573206940044